

NO.	用語	フリガナ	用語解説
1	アースライニング	アースライニング	粘土、粘性土等の盛土を用いた最終処分場の遮水工法。
2	跡地利用	アトチリヨウ	最終処分場の埋立処分が終了し、施設の閉鎖後に、処分場跡地を別の用途に利用すること。
3	安定型最終処分場	アンテイガタサイシュウシヨ ブンジョウ	安定型産業廃棄物のみを埋立処分できる最終処分場。安定型産業廃棄物を参照。
4	安定型産業廃棄物	アンテイガタサンギョウハイ キブツ	安定型最終処分場に埋立処分できる廃プラスチック類、ゴムくず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず・陶磁器くず、がれき類等が挙げられる。安定5品目とも言われている。雨水等にさらされてもほとんど変化しない。
5	一軸圧縮強度	イチジクアッシュクキョウド	コンクリートが圧縮力を受けて破壊するときの強さを応力度で表した値。
6	雨水集排水設備	ウスイシュウハイスイセツビ	埋立地外に降った雨水が埋立地に流入しないように、また、埋立て前の区域に降った雨水がごみ層に流入しないように雨水を集排水するために設ける設備。排水溝、区画堤等がある。
7	雨水排除設備	ウスイハイジョセツビ	処分場周辺に降った雨が処分場内に流れこまないように設けられた開渠。
8	埋立機材	ウメタテキザイ	最終処分場で産業廃棄物を埋め立てる際に使用するブルドーザ等の機材。
9	埋立工法	ウメタテコウホウ	廃棄物の埋立方式で、サンドイッチ方式、セル方式、投げ込み方式がある。
10	埋立処分基準	ウメタテシヨブンキジュン	廃棄物処理法施行令第6条第1項第3号で定める産業廃棄物の埋立処分基準。
11	エマルジョン	エマルジョン	乳濁液ともいわれ、液中に混じりあわない他の液体が微細粒子となって、分散、浮遊している混合物。
12	鉛直遮水工	エンチョクシャスイコウ	最終処分場の遮水工の1つ。地中の不透水層まで鉛直に設けた遮水工。鋼矢板工、遮水壁工等がある。
13	えん堤	エンテイ	最終処分場で廃棄物の流出防止のために設ける堤防のこと。
14	オゾン処理	オゾンシヨリ	オゾンの強い酸化力を用いて、排水中の汚濁物質を酸化分解すること。
15	オゾン脱臭法	オゾンダッシュウホウ	酸化剤であるオゾンを生じさせ、におい成分を酸化分解する方法。
16	開渠	カイキョ	蓋をしていない水路。蓋のある水路は暗渠(アンキョ)という。
17	外周仕切設備	ガイシュウシキリセツビ	遮断型最終処分場は、有害な産業廃棄物を埋立処分することから、周辺環境と完全に遮断しなくてはならない。そのための設備が外周仕切り設備で、一般廃棄物の最終処分場及び産業廃棄物の最終処分場に係る技術上の基準を定める命令(総理府・厚生省令)でその材質等が定められている。
18	回転円板法	カイテンエンバンホウ	低速で回転する円板上に付着、生育した微生物を利用する污水処理法。
19	海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律	カイヨウオセントウオヨビ カイジョウサイガイノボウシニ カンスルホウリツ	海洋汚染や海上災害の防止を目的とする法律。同法では船舶、海洋施設等からの有害液体物質や廃棄物等の排出を規制している。
20	ガス抜き設備	ガスヌキセツビ	廃棄物層で発生したガスの滞留を抑制して大気放散を促す設備。
21	河川法	カセンホウ	河川の管理等について定めた法律。
22	活性汚泥法	カッセイオデイホウ	好気性微生物を利用して有機物を分解する排水処理法。
23	活性炭吸着法	カッセイタンキュウチャクホ ウ	活性炭により微量の有機物等を吸着する方法。活性炭はある種の有機物や色度成分に対する吸着力が強いので、排水処理としての活性炭吸着法は生物化学的処理の後の高度処理や脱色に使われることが多い。トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン等の代表的な処理法となっている。
24	活断層	カツダンソウ	活断層とは、通常は地表に現れている断層と認められる地形のうち、最近の地質時代(第四紀以降・最近約170~200万年)に繰り返し活動し、将来も活動することが推定される断層のこと。
25	環境影響評価	カンキョウエイキョウヒョウカ ホウ	環境に大きな影響を及ぼすおそれがある事業について、その事業の実施に当たり、あらかじめその事業の環境への影響を調査、予測、評価し、その結果に基づき、その事業について適正な環境配慮を行うこと。
26	環境影響評価法	カンキョウエイキョウヒョウカ ホウ	平成9年に成立した法律。道路、ダム、鉄道、廃棄物処分場等の13種類の事業について、法律で定める規模要件以上の事業を対象に、法律に定める手続きを行う。なお廃棄物処分場は30ha以上が対象となる。
27	観測孔	カンソクコウ	管理型最終処分場からの保有水の漏えいを確認するために設ける地下水観測用の井戸。

NO.	用語	フリガナ	用語解説
28	逆浸透膜(RO膜)	ギャクシントウマク(ROまく)	浸出液から固体粒子を取り除く、ろ過法で使用されるろ過膜の1つ。分離対象粒子径は0.0001～0.001μm程度で、粒子が非常に小さい塩化物イオン等が分離できる。ろ過を参照。
29	急傾斜地の崩壊による災害の防止に関する法律	キュウケイシャチノホウカイニヨルサイガイノボウシニカンスルホウリツ	急斜面地における災害対策について定めた法律。
30	急傾斜地崩壊危険区域	キュウケイシャチホウカイキケンクイキ	急傾斜地の崩壊による災害の防止に関する法律に基づき、崩壊のおそれがあり、崩壊によって相当数の居住者等に危害が生じるおそれのあるとして、都道府県知事等が指定した区域。
31	吸着法	キュウチャクホウ	脱臭法の1つ。におい成分を活性炭等の吸着剤に吸着させて除去する方法。
32	夾雑物	キョウザツブツ	あるものの中にまじっている余計なもの。
33	凝集沈殿法	ギョウシュウチンデンホウ	污水又は廃液に凝集剤を加えることにより、水中の微小粒子をまとめて、大きな固まりにし、除去する方法。
34	キレート吸着法	キレートキュウチャクホウ	水に含まれる特定の微量金属イオンと選択的に吸着する性質があるキレート剤を利用し、試料水中の測定を妨害する金属イオンを分析目的成分から分離する方法。
35	近郊緑地保全地区	キンコウリョクチホゼンチク	「首都圏近郊緑地保全法」、「近畿圏の保全区域の整備に関する法律」に基づいて、無秩序な市街地化を防止し、良好な緑地を保全するため、内閣総理大臣によって指定された地域。
36	クラック	クラック	壁、天井、岩壁等にできる、割れ目、裂け目。
37	栗石	グリシ	直径10～15センチぐらいの石。基礎材等に使用される。
38	クローズドシステム処分場	クローズドシステムシヨブンジョウ	埋立地区(埋立廃棄物層)が、覆蓋によって外界と区別されている最終処分場。
39	景観地区	ケイカンチク	都市計画法上の地域地区の1つ。市街地の良好な景観の形成を図るために定められる地区。同地区の指定の要件は景観法で定められている。
40	限外ろ過膜(UF膜)	ゲンガイロカマク	浸出液から固体粒子を取り除く、ろ過法で使用されるろ過膜の1つ。分離対象粒子径は0.001～0.1μm程度で、ウイルスや分子サイズのもの分離できる。ろ過を参照。
41	嫌気性埋立	ケンキセイウメタテ	平地の掘削あるいは谷部に廃棄物を投棄したもので、廃棄物層は滞水した状態で内部には空気が入りにくく、嫌気性となっている。
42	嫌気性分解	ケンキセイブンカイ	酸素の少ない嫌気的条件下において、嫌気性微生物により汚れのもととなる有機物を分解する。メタン(CH ₄)、アンモニア(NH ₃)、硫化水素(H ₂ S)等が発生する。
43	原生自然環境保全区域	ゲンセイシゼンカンキョウホゼンクイキ	自然環境保全法に基づき、人の活動の影響を受けることなく原生の状態を維持している地域として環境大臣より指定された地域。
44	光化学分解法	コウカガクブンカイホウ	紫外線等の照射とオゾン等の酸化力を利用してダイオキシン類を脱塩素化し、分解する方法。
45	好気性埋立	コウキセイウメタテ	ブロウ等を用いて強制的に廃棄物層に空気を送り込む構造となった最終処分場での廃棄物の埋立。廃棄物層内は好気性が保たれる。「NO.181ブロウ」の項参照。
46	好気性分解	コウキセイブンカイ	酸素が十分に存在する条件下で好気性微生物により汚れのもととなる有機物を分解する。
47	鋼製矢板	コウセイヤイタ	鋼製の矢板。港湾、河川等の護岸工事や土止め等に用いられる。
48	国有林	コクユウリン	国が森林所有者である森林及び「国有林野の管理経営に関する法律」に規定する分収林である森林。
49	古都における歴史的風土の保存に関する特別措置法	コトニオケルレキシテキフドノホソウニカンスルトクベツソチホウ	「古都」における「歴史的風土」を後世に引き継ぐべき国民共有の文化的資産として適切に保存するため講ずべき措置を定めた法律。
50	コロイド	コロイド	0.1～0.001μm程度の極微細な粒子が、液体、気体、固体等の媒体中に分散している状態。
51	最終処分基準省令	サイシュウシヨブンキジュンシヨウレイ	「一般廃棄物の最終処分場及び産業廃棄物の最終処分場に係る技術上の基準」について定めた省令のこと。
52	最終処分場	サイシュウシヨブンジョウ	環境保全の観点から汚水の外部流出、地下水汚染、廃棄物の飛散・流出、ガス発生、鼠族(そぞく)昆虫の発生等を防止しながら、所要量の廃棄物を安全に埋立処分できる構造物。遮断型最終処分場、安定型最終処分場、管理型最終処分場がある。
53	最終処分場の維持管理基準	サイシュウシヨブンジョウノイジカンリ	「一般廃棄物の最終処分場及び産業廃棄物の最終処分場に係る技術上の基準を定める省令」で規定された最終処分場の維持管理基準。
54	最終処分場の構造基準	サイシュウシヨブンジョウノコゾウキジュン	「一般廃棄物の最終処分場及び産業廃棄物の最終処分場に係る技術上の基準を定める省令」で規定された最終処分場の構造基準。

NO.	用語	フリガナ	用語解説
55	最終処分場の廃止	サイシュウショブンジョウノハイシ	もはや最終処分場としての維持管理の必要がない程度まで、埋め立てた廃棄物が安定化したことが確認されている状態。
56	最終処分場の廃止基準	サイシュウショブンジョウノハイシキジュン	「一般廃棄物の最終処分場及び産業廃棄物の最終処分場に係る技術上の基準を定める省令」で規定された最終処分場の廃止に係る技術上の基準。
57	再生利用	サイセイリヨウ	「再生」とは、廃棄物から原材料等の有用物を得ること、または処理して有用物にすることをいい、「再生利用」とは、これらにより得られた有用物又は廃棄物を有効に活用することをいう。
58	採草放牧地	サイソウホウボクチ	農地以外の土地で、主として耕作又は養畜の事業のための採草又は家畜の放牧の目的に供されるものをいう。
59	砂防指定区域	サボウシテイクイキ	砂防法に基づき、土砂の流出による被害を防止するための砂防ダム等の設備が必要である、土地の形を変える等の行為等の禁止や制限が必要であるとして、国土交通大臣が指定した区域。
60	砂防法	サボウホウ	砂防に関する事項を定めた法律。
61	山間埋立	サンカンウメタテ	山間の谷間を埋め立てること。
62	散水ろ床法	サンスイロショウホウ	砕いた石の表面に生育している微生物の作用により、碎石の上を通過する間に有機物を分解する方法。
63	サンドイッチ方式	サンドイッチホウシキ	廃棄物と覆土が層状になるように埋め立てる方法。
64	残余容量	ザンヨウリヨウ	最終処分場(埋立処分場)が満杯になるまでの残りの容量。最終処分場の埋立許可容量から既に埋め立てられた廃棄物の埋立容量を減じて算出する。年に1回以上の頻度で現地測量を行い、記録を作成、保存することが法で定められている。
65	市街化区域	シガイカクイキ	市街地として積極的に整備する区域で、「すでに市街地を形成している区域」及び「おおむね10年以内に優先的かつ計画的に市街化を図るべき区域」であり、用途地域等を指定し、道路や公園、下水道等の整備を行い、住宅や店舗、工場等、計画的な市街化を図る区域。
66	市街化調整区域	シガイカチョウセイクイキ	市街化を抑制する区域であり、原則として、用途地域を定めず、優れた自然環境等を守る区域として、開発や建築が制限されている区域。
67	自己修復型シート	ジコシュウフクガタシート	破損時に、コロイド状の物質等で自動的に破損部を塞いで止水する最終処分場の遮水シート。
68	地震探査	ジシタンサ	人工地震による地震波を利用した物理探査。
69	地すべり等防止法	ジスベリウボウシホウ	地すべり及びばた山の崩壊を防止し、国土の保全と民生の安定に資することを目的とした法律。
70	地すべり防止地区	ジスベリボウシチク	地すべり等防止法に基づき、地すべりによる崩壊を防止するために必要な施設を設置するとともに、一定の行為を制限する必要がある土地について農林水産大臣又は国土交通大臣が指定する区域。
71	自然環境保全法	シゼンカンキョウホゼンホウ	自然環境を開発から守るために昭和47年に制定された法律で、自然環境保全基本方針の策定や地域指定制度等自然環境の保全に関する基本的事項を定めている。
72	自然共生型社会	シゼンキョウセイガタシャカイ	生物多様性が適切に保たれ、自然の循環に沿う形で農林水産業を含む社会経済活動を自然に調和したものとし、また様々な自然とのふれあいの場や機会を確保することにより、自然の恵みを将来にわたって享受できる社会。
73	自然公園法	シゼンコウエンホウ	日本の自然の風景地を保護するとともに、その利用の増進を図り、国民の保険、休養等に資することを目的とする法律で、昭和32年に制定。国立公園、国定公園及び都道府県立自然公園内工では、作物の新築・改築等に許可や届出が必要となる。
74	自動車等破砕物	ジドウシャトウハサイブツ	自動車や電気機械器具の破砕に伴って生じた廃プラスチック類、金属くず及びガラスくず等のこと。廃棄物処理法施行令第6条第1項第3号イ(1)で定義されている。
75	島型埋立	シマガタウメタテ	外周を護岸等によって囲い、1つの島をつくる埋立て。
76	遮水機能	シャスイキノウ	廃棄物の最終処分場から廃棄物の保有水や雨水等が浸出しないようにする機能。
77	遮水工	シャスイコウ	埋立廃棄物の保有水や埋立地内に降った雨水(浸出水)が埋立地外部に流出するのを防止するために、埋立地の底面や斜面、貯留構造物の底部等に設ける難透水性の層または壁をいう。
78	遮水シート	シャスイシート	廃棄物の最終処分場から廃棄物の保有水や雨水等が浸出しないようにするシート。材質は合成ゴム系、合成樹脂系及びアスファルト系のものが一般的である。遮水シートには、埋立地内部の保有水を浸出させない十分な遮水性を有すること、表面に穴や亀裂等が認められないこと等の要件が求められている。
79	集水域	シュウスイキ	降水時に地表を流れた水が流れ込む範囲。流域のこと。

NO.	用語	フリガナ	用語解説
80	集水バルブ	シュウスイバルブ	最終処分場の浸出液集排水施設において、浸出液量を調整するためのバルブ。最終処分場外に集水ピットを設ける場合は、そのままでは最終処分場からの浸出水の流出を制御できないので、貯留構造物の出口に集水バルブを設け、浸出水の取水量を調節する例が多い。
81	集水ピット	シュウスイピット	最終処分場の浸出液集排水施設において、浸出液を一時的に溜めておくために設けられた槽。集排水管の流末で、集められた浸出水をポンプ等によって汲み出すための設備であり、埋立地の中に設ける場合と外に設ける場合がある。
82	集排水管	シュウハイスイカン	最終処分場の浸出液集排水施設等で集排水が流れる配管。
83	首都圏近郊緑地保全法	シウトケンキンコウリョクチホゼンポウ	首都圏(関東地方と山梨県の1都7県)市街地の既成市街地の近郊に存在する自然環境の良好な地域を保全することを目的に昭和41年に制定された法律。
84	循環型社会	ジュンカンガタシャカイ	資源採取、生産、流通、消費、廃棄等の社会経済活動の前段階を通じて、廃棄物等の発生抑制や循環資源の利用等の取組により、環境負荷をできるだけ少なくした社会。
85	準好気性埋立	ジュンコウキセイウメタテ	通気・浸出液の集排水機能を有する構造となった最終処分場での廃棄物の埋立処分。開口部が大気に接している浸出液集排水管より廃棄物層に空気が入りやすく、廃棄物層は嫌気性埋立構造に比べてより好気性になる。埋立地内部で発生するガス濃度が低い段階で速やかに大気に放出され、廃棄物の分解が促進される。
86	消・脱臭剤法	シヨウ・ダッシュウザイホウ	消・脱臭剤とにおい成分との化学反応や吸着作用によってにおいを除去したり、芳香剤の添加によりにおいの質を変化させる方法。
87	焼酎かす	シヨウチュウカス	焼酎の原料をアルコール発酵し、蒸留した後に残った残さ。
88	食品加工残さ	シヨクヒンカコウザンサ	食品製造及び加工過程で排出される食品残さ。
89	浸出液	シンシュツエキ	埋め立てた廃棄物に雨水等が接触し、処分場内から染み出る汚水のこと。最終処分場の外に排出された保有水等。
90	浸出液処理システム	シンシュツエキシヨリステム	浸出水処理施設で浸出液を浄化するための仕組み。
91	浸出液処理設備	シンシュツエキシヨリセツビ	最終処分場で発生した浸出液を処理し、公共用水域へ放流するための設備。
92	浸出液調整池	シンシュツエキチョウセイチ	浸出液処理施設で処理する前の浸出液を一時的に溜める池やタンク。調整池に一旦、浸出液を溜めて処理施設に安定的に浸出液が供給されるよう、調整する。
93	浸透水	シントウスイ	安定型最終処分場の廃棄物層の間を通過してきた雨水等。安定型最終処分場では搬入した廃棄物の展開検査と浸透水の定期的な水質分析の実施が義務付けられている。安定型最終処分場に安定5品目以外の廃棄物の付着又は混入があれば、浸透水が汚染される恐れがある。
94	浸透水採取設備	シントウスイサイシュセツビ	浸透水を採取するための設備。浸透水は定期的な水質分析の実施が義務付けられており、この設備により採水される。
95	森林法	シンリンホウ	森林計画や保安林等の森林に関する手続や規定について定めた法律。
96	水銀使用製品産業廃棄物	スイギンシヨウセイヒンサンギョウハイキブツ	水銀を使用した製品が産業廃棄物となったもの。 例：一部の電池、蛍光灯、電気制御用のスイッチ及びびりー、水銀体温計、水銀式血圧計等
97	水底土砂	スイテイドシャ	港湾、河川等のしゅんせつに伴って生ずる土砂のこと。
98	水密性鉄筋コンクリート	スイミツセイテツキンコンクリート	透水、吸水が非常に少なく、水密性が高い鉄筋コンクリートのこと。
99	砂ろ過法	スナロカホウ	水を微細な砂の層を通過させることにより、含まれる粒子等の懸濁物質を除去する方法。ろ過を参照。

NO.	用語	フリガナ	用語解説
100	生活環境影響調査	セйкаツカンキョウエイキョウチョウサ	廃棄物処理施設の設置や稼働に伴って生じる生活環境への影響に関する調査。廃棄物処理法では、廃棄物処理施設の設置許可申請に当たり生活環境調査の実施を求めている。
101	生産緑地地区	セイサンリョクチチク	生産緑地法に基づき、市町村が指定する市街化区域内の農地。
102	生産緑地法	セイサンリョクチホウ	生産緑地地区に関する都市計画に関し必要な事項を定めた法律。
103	生物学的脱窒素法	セイブツガクテキダツツソホウ	污水等に含まれる窒素を、細菌の働きによりガスにして除去する方法。
104	生物処理法	セイブツシヨリホウ	微生物によって有機性物質を分解・処理する方法。
105	生物脱臭法	セイブツダッシュウホウ	微生物の働きによってにおい物質を分解除去する方法。
106	精密ろ過膜(MF膜)	セイミツロカマク	浸出液から固体粒子を取り除く、ろ過法で使用されるろ過膜の1つ。分離対象粒子径は0.1～10μm程度で、大腸菌等が分離できる。ろ過を参照。
107	赤泥	セキデイ	ボーキサイトの精製時に発生する堆積物で、酸化して赤褐色になった泥。
108	接触ばっ気法	セツシヨクバツキホウ	生物膜法の1つ。接触ばっ気槽内の接触材に付着する生物膜を利用して、汚水を循環接触させて浄化する方法。
109	セル方式	セルホウシキ	1日分の埋立廃棄物を覆土で覆い、次にその上や横に同様の方法で埋め立てる方法。
110	全シアン	ゼンシアン	シアン化物イオン、シアン化水素、金属のシアン化物、金属シアン鎖体の総称。
111	総水銀	ソウスイギン	無機水銀と有機水銀の総称をいう。有機水銀は、神経系を冒し、手足のふるえを起したり、言語障害、食欲不振、聴力・視力の減退をもたらす。無機水銀は、自然界において有機水銀に変わる可能性がある。
112	タールピッチ類	タールピッチルイ	コールタール、原油等の蒸留残渣。黒っぽい粘着性のある物質。
113	大腸菌	ダイチョウキン	計測管理「大腸菌群」を参照。
114	耐硫酸塩ポルトランドセメント	タイリユウサンエンポルトランドセメント	耐酸性セメントの一種。セメント中のアルミネート相は、硫酸塩に対する抵抗性が弱いため、その含有量を極力少なくしたセメント。
115	宅地造成工事規制区域	タクチゾウセイコウジキセイクイキ	宅地として造成することによって、崖崩れや土砂の流出による災害が発生するおそれがある区域。都道府県知事等が宅地造成等規制法に基づいて指定する。
116	縦形ガス抜き設備	タテガタガスヌキセツビ	最終処分場内部で浸透水(浸出液)を早急に集水とともに、発生したガスを速やかに排除し、同時に空気の流入を促進させるための設備。
117	炭酸カルシウム	タンサンカルシウム	カルシウム化合物の1つ。化学式CaCO ₃ 。
118	地下水集排水設備	チカスイシュウハイスイセツビ	地下水により遮水工が損傷しないため、地下水を集排水する設備。
119	地形調査	チケイチョウサ	地形の性状及び分布状態を明らかにするための調査。地形図調査、地形測量調査がある。
120	地質調査	チシツチョウサ	地質の状態を明らかにするために行われる調査。地表地質踏査、物理探査、ボーリング調査がある。
121	地表地質踏査	チヒョウチシツトウサ	地表に露出している地質に関する情報を観察し、地下の地質・地盤の性質と分布を形成過程も含めて明らかにする作業。
122	貯留機能	チョリユウキノウ	最終処分場に所要量の廃棄物を埋め立て、安全に貯留するための機能。
123	貯留構造物	チョリユウコウゾウブツ	最終処分場に廃棄物を安全に貯留するための擁壁や盛土堤等の構造物。
124	低炭素社会	テイタンソシャカイ	地球温暖化の原因である二酸化炭素(CO ₂)等の温室効果ガスの排出を、自然が吸収できる量以内に削減するため、低炭素エネルギーの導入等の環境配慮を徹底する社会システム。低炭素社会では、すべての人がCO ₂ を減らすための行動や選択をとり、政府は税制のグリーン化等仕組みづくりを行う。
125	底部集排水管	テイブシュウハイスイカン	処分場の底部に設けられた集排水管。
126	展開検査	テンカイケンサ	最終処分場に搬入した産業廃棄物を搬入車両から卸して、目視により行う検査。
127	電気探査	デンキタンサ	地下を構成する物質の電気的性質を測定して、地盤の地質的及び土木工学的な解釈を行う探査。
128	電気式漏水検知	デンキテキロウスイケンチ	電極等を用いて最終処分場の破損等による漏水を検知する仕組み。

NO.	用語	フリガナ	用語解説
129	電気伝導度	デンキデンドウド	電気の伝わりやすさを示す指標。水中に含まれるイオンが電気を運ぶ役割を担うので、塩化物イオンが多い場合に、電気伝導度の値が高くなる。
130	伝統的建造物群保存地区	デントウテキケンゾウブツグンホソンチク	文化財保護法の規定に基づき、歴史的な集落や町並み等、伝統的建造物群及びこれと一体をなしてその価値を形成している環境として市町村が指定した地域。
131	糖液	トウエキ	砂糖を製造するときに発生する茶褐色の液体。
132	動植物性残さ	ドウショクブツセイザンサ	食料品製造業、医薬品製造業又は香料製造業において原料として使用した動物又は植物に係る固形状の不要物。
133	透水係数	トウスイケイスウ	透水係数とは、土の中の水が移動する速度を表したもの。一般に砂質土では透水係数は大きく、粘性土では極めて小さい。
134	都市計画法	トシケイカクホウ	無秩序な市街化を防止し、計画的かつ段階的に市街化を図ることを目的とした法律。
135	都市公園法	トシコウエンホウ	都市公園の設置及び管理に関する基準等を定めた法律。
136	土質調査	ドシツチョウサ	構造物の設計・施工に必要な地盤の性質を求めるために原位置で行う調査や試験。
137	都市の美観風致を維持するための樹木の保存に関する法律	トシノビカンフウチライジスルタメノジュモクノホソンニカンスルホウリツ	都市の美観風致を維持するための樹木の保存について定めた法律。
138	土壌脱臭法	ドジョウダクシュウホウ	土壌中に排出ガスを通し、土壌中の微生物による分解、土壌粒子への吸着等によりにおいを除去する方法。
139	都市緑地法	トシリョクチホウ	都市における緑地の保全及び緑化の推進に関し必要な事項を定めた法律。
140	トラックスケール	トラックスケール	車両の重量を測定する大型の秤。台貫。
141	トラフィカビリティ	トラフィカビリティ	建設機械が軟弱な土の上を走行する場合、土の種類や含水比の大小により作業効率が大きく変わる。この機械走行の難易をトラフィカビリティという。
142	内部仕切設備	ナイブシキリセツビ	最終処分場の内部を区分けするための仕切り。遮断型最終処分場では、埋立面積50㎡又は埋立容量250m ³ を超えないように区画割をすることとなり、埋立が完了した区画は外周仕切り設備等と同等以上の覆いにより完全密封しなくてはならない。
143	投げ込み方式	ナゲコミホウシキ	処分場に廃棄物を投入し、重機による敷きならし、転圧、覆土等を行わない埋立方法。廃棄物の投入後の維持管理が行われないために環境保全上の問題が多く、この方式の採用は望ましくない。
144	21世紀環境立国戦略	ニジュウイツセイキカンキョウリツコクセンリヤク	低炭素社会、循環型社会、自然共生社会づくりの取組を統合的に進めていくことにより持続可能な社会を目指すことを目標に平成19年に閣議決定された環境政策。
145	熱しやく減量	ネツシヤクゲンリョウ	計測管理の「強熱減量」を参照。
146	燃焼法	ネンショウホウ	脱臭方法の1つ。におい成分を燃焼させて分解する装置で、直接燃焼、触媒燃焼、蓄熱燃焼の方式がある。
147	農業振興地域	ノウギョウシンコウチイキ	農業振興地域の整備に関する法律の規定に基づき、今後、総合的に農業振興を図るべき地域として、都道府県知事が指定した地域。
148	農業振興地域の整備に関する法律	ノウギョウシンコウチイキノセイビニカンスルホウリツ	農業振興地域について定めた法律。
149	農地	ノウチ	耕作の目的に供される土地。
150	農地法	ノウチホウ	耕作者の農地取得の促進、その権利の保護、土地の農業上の効率的な利用を図るための農地関係の調整等を定めた農地に関する基本法。
151	廃棄物最終処分場性能指針	ハイキブツサイシュウシヨブンジョウセイノウシン	平成12年12月に厚生省が公布した「廃棄物最終処分場の性能に関する指針について」のこと。
152	廃棄物最終処分場整備の計画・設計・管理要領	ハイキブツサイシュウシヨブンジョウセイビノケイカクセツケイ・カンリョウリョウ	(公社)全国都市清掃会議が発行した「廃棄物最終処分場整備の計画・設計・管理要領」のこと。
153	廃石膏ボード	ハイセッコウボード	石膏を主原料とした建築材料である石膏ボードが廃棄物となったもの。廃棄物処理法施行令第6条第1項第3号イ(4)で安定型最終処分場では処分できないものと規定されている。
154	廃プリント配線板	ハイプリントハイセンパン	電気回路の配線を絶縁体からなる板の表面や内部にプリントした基板が廃棄物となったもの。
155	廃容器包装	ハイヨウキホウソウ	商品の容器及び包装(商品の容器及び包装自体が有償である場合を含む。)であって、当該商品が消費され、又は当該商品と分離された場合に不要になるもの。
156	発酵廃液	ハッコウハイエキ	アルコールを製造する際に生じる廃液。

NO.	用語	フリガナ	用語解説
157	発生ガス処理設備	ハツセイガスシヨリセツビ	埋立地から発生するガスを排除するために埋立地内部に設置される堅型あるいは法面に設置される通気設備。
158	判定基準	ハンテイキジュン	金属等を含む産業廃棄物に係る判定基準。
159	搬入管理設備	ハンニューカンリセツビ	最終処分場に搬入される廃棄物の計量、質の分析や展開検査と記録管理を行うための施設。
160	控え壁式	ヒカエカベシキ	逆T型、L型擁壁の縦壁の背面に控え壁を設けた擁壁。
161	光触媒脱臭法	ヒカリシヨクバイダツシュウホウ	紫外線と触媒の作用により、におい物質を酸化分解する方法。
162	飛散性アスベスト	ヒサンセイアスベスト	吹付けアスベスト、アスベスト保温材等、大気中に飛散するおそれのあるアスベストを含む廃棄物。
163	非飛散性アスベスト	ヒヒサンセイアスベスト	アスベスト成形板が解体工事等により撤去され廃棄物となったもの。
164	被覆材	ヒフクザイ	処分場の集排水管が廃棄物による目詰まりや損傷により機能しなくなることを防止するために、集排水管の周囲に敷設する栗石等の資材。
165	表面遮水工	ヒヨウメンシャスイコウ	廃棄物層の底部に敷設して、浸出水が流出することを防止する最終処分場の遮水工。
166	風致地区	フウチチク	都市の風致(樹林地、水辺地等で構成された良好な自然的景観)を維持するために、都市計画法で定められた地区。
167	舗装・フェーシング	ホソウ・フェーシング	遮水シートやアースライニング(粘土層)を舗装(アスファルト)で保護すること。
168	覆土	フクド	廃棄物を地面に埋め立てた後、廃棄物の飛散等を防止するために土をかぶせること。
169	覆土材	フクドザイ	覆土に用いる土。
170	不織布	フシヨクフ	繊維あるいは糸等を織らずに、熱的、機械的、化学的作用により繊維を接着またはからみ合わせたシート状の布のこと。
171	物理化学処理法	ブツリカガクシヨリホウ	物理的作用(重力、ろ過、吸着等)や化学反応を利用する水処理法。
172	物理探査	ブツリタンサ	地下に存在する物質の物理的、化学的性質と直接あるいは間接的に関連して、人為的または自然的に生じた現象を遠隔的に観測し、その資料を解析することにより、地質構造の様相、鉱床の存在等のような地下の状態を解明すること。最終処分場を設置する際の基礎調査として、岩盤の風化度等の調査を行うために、地震探査、電気探査等の物理探査が行われる。
173	フミン酸	フミンサン	腐植酸ともいう。植物の葉等が主として微生物の作用によって分解されて、不溶性の状態が残った高分子の物質。
174	プラズマ脱臭法	プラズマダツシュウホウ	におい成分を含む空气中に高電圧放電を行うことにより、活性分子、ラジカル、オゾン等が生成し、これらの酸化力によりにおいを分解する方法。
175	フルボ酸	フルボサン	石炭化度の低い泥炭や褐炭に含まれる、アルカリに溶けて、酸で沈殿する有機高分子化合物をいう。外見は褐色から黒色を呈する。
176	ブロウ	ブロウ	送風機。最終処分場では、廃棄物層に空気を送り込むのに用いられる。
177	文化財保護法	ブンカザイホゴホウ	文化財の保存と活用を目的とした法律。
178	平地埋立	ヘイチウメタテ	平野部にある窪地や掘込み等を利用して埋め立てること。
179	ベントナイト	ベントナイト	粘土の一種。主にモンモリロナイトという粘土鉱物からなり、白、淡緑等の色調を呈する。風化すると淡黄色に変わる。水の吸着性が強く、水に入れると短時間に膨潤して崩れる。遮水工に用いられる部材の一つ。
180	ボーリング孔	ボーリングコウ	ボーリング調査のためにドリルであけた円筒状の孔。
181	ボーリング調査	ボーリングチョウサ	ドリルにより円筒状の孔を穿つことにより、地盤の硬さを測定する地盤調査法。
182	保存樹	ホソンジユ	良好な環境を確保し、美観を維持するために、「都市の美観風致を維持するための樹木の保存に関する法律」の規定に基づいて、市町村長が指定した樹木。
183	保有水等	ホユウスイトウ	埋め立てられた廃棄物が保有する水分及び雨水。
184	保有水等集排水設備	ホユウスイトウシュウハイスイセツビ	埋立層の内部の保有水等を速やかに浸出液処理設備に送るための設備。

NO.	用語	フリガナ	用語解説
185	水際埋立	ミズギワウメタテ	海岸、湖岸の一部を締め切って埋め立てること。
186	民有林	ミンユウリン	個人や企業が所有する私有林と地方公共団体が所有する公有林との総称。
187	メタン	メタン	化学式CH ₄ 。無色の可燃性気体。天然ガスの主成分で、有機物が嫌気状態で腐敗、発酵するときに生じる。
188	モニタリング設備	モニタリングセツビ	最終処分場の維持管理のための各種測定を行うためのモニタリング井戸やガス採取管、沈下板等の設備。
189	モルタル	モルタル	セメントあるいは石灰と砂とを混ぜて水で練ったもの。
190	薬液洗浄法	ヤクエキセンジョウホウ	脱臭法の1つ。酸やアルカリ等の薬液とにおい成分とを接触させ、化学反応によりにおいを除去する方法。
191	用地調査	ヨウチチョウサ	土地等を取得し、使用するに当たり必要となる用地測量、現在、用地に建てられている建物等に関する調査、用地の取得に必要な金額の算定等、土地等の取得等に係る業務をいう。
192	用途地域	ヨウトチイキ	都市計画法により、都市の環境保全や利便の増進のために、地域における建物の用途に一定の制限を行う地域。
193	擁壁	ヨウヘキ	土木工事で盛土や、切土における斜面の土砂が崩壊するのを防ぐための土留め構造物。
194	硫化水素	リュウカスイソ	化学式H ₂ S。硫黄と水素の化合物。無色の気体で中毒症状を引き起こす。
195	硫酸塩	リュウサンエン	硫酸イオン(化学式SO ₄ ²⁻)を含む無機化合物の総称。
196	緑地保全地域	リョクチホゼンチイキ	緑地を保全するために、都市緑地法の規定に基づき、都市計画で指定された地域。地域内での一定規模以上の樹木の伐採等を行う場合には都道府県知事等への届出が必要となる。
197	ルジオン値	ルジオンチ	地盤が高い水圧の作用下にあるときの水の通しやすさを評価する指標。
198	ロードセル方式	ロードセルハウシキ	ロードセルとは、負荷される力、重量に応じた電気信号を出力する荷重変換器。ロードセル方式は、デッキ上の荷重をロードセルの弾力性と釣り合わせ、ロードセルのひずみを電気抵抗の変化に変えて計量部へ伝える方法。トラックスケールの測定方法の一つ。
199	ろ過	ロカ	懸濁液から固体粒子を取り除く方法の1つにろ過がある。ろ過には砂の層を利用する砂ろ過法のほか、ろ過膜を使用してろ過する方法がある。ろ過膜は、ろ過する対象物質の種類やサイズによって精密ろ過膜(MF膜)、限外ろ過膜(UF膜)、逆浸透膜(RO膜)等がある。
200	ロンドン条約	ロンドンジョウヤク	正式名称を「1972年の廃棄物その他の物の投棄による海洋汚染の防止に関する条約」といい、海洋投棄による海洋の汚染を防止することを目的としている。
201	T-N	T-N	総窒素、全窒素ともいう。窒素元素を含む化合物の総称。工場排水及び天然水中に存在する窒素化合物の形態は、無機態窒素と有機態窒素の二つに大別される。